

長崎県内の乳がん検診の実績について

2025.1.17

長崎県保健医療対策協議会
がん対策部会乳がん委員会

●実績データについて

厚生労働省(令和6年3月公表)

「令和4年度 地域保健・健康増進事業報告」より集計

プロセス指標	参照年度(最新)
受診率	令和 4年度
要精検率 精検受診率 陽性反応適中度 がん発見率	令和 3年度

※「地域保健・健康増進事業報告」は、地域(市区町村)で実施された事業報告のため、職域で実施された検診(人間ドック含む)は含まない。

※集計年齢は、公表値に準じて「40～69歳」とする。

ただし、長崎県内では70歳以上の受診者数が多いため、一部参照データとして示す。

◆地域保健・健康増進事業報告の流れ

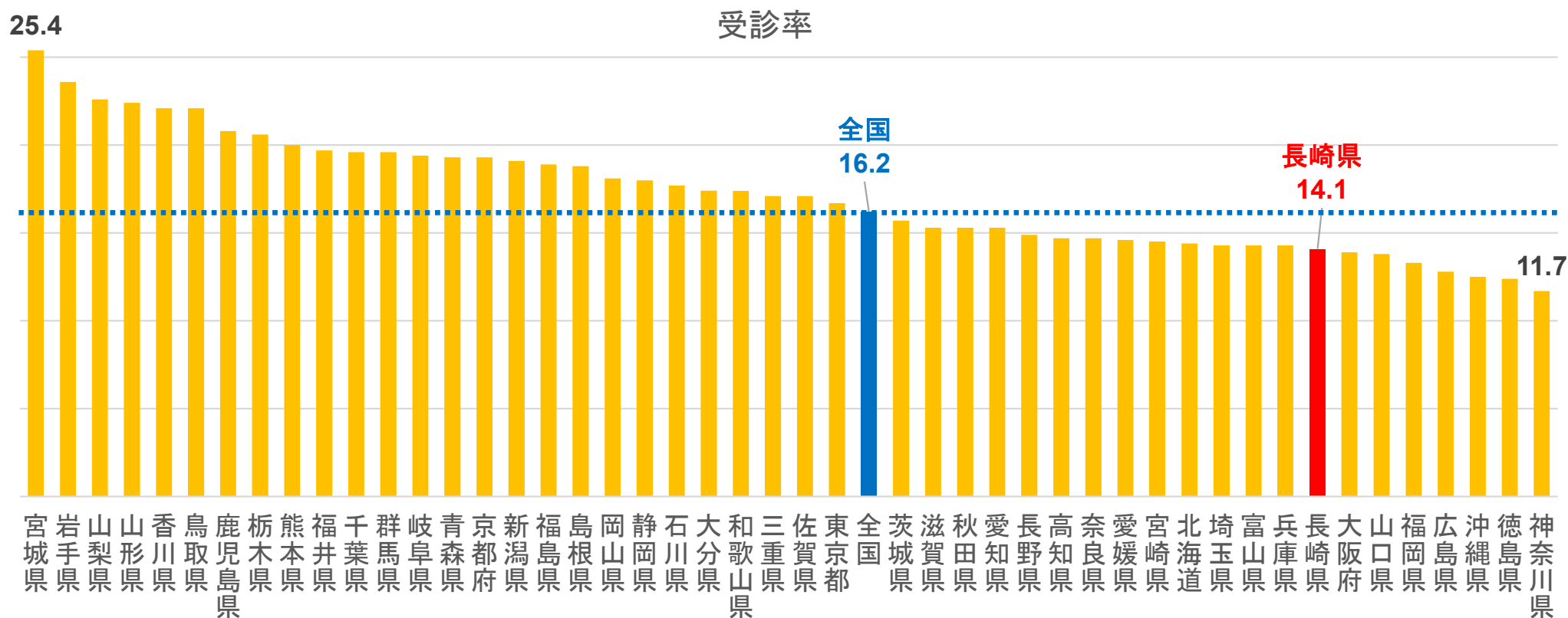
翌年度(6月末頃) ⇒ ⇒ ⇒ 翌々年度(6月末頃)
検診実績報告 (精検結果の把握) 精検結果報告

▶ 1.乳がん検診受診率の状況

1) 全国順位

▶ 地域保健・健康増進事業報告(厚労省)公表値によると、令和4年度(長崎県)は14.1%で、全国平均16.2 %を下回り、全国40位。

受診率 = (当該年度受診者数 + 前年度受診者数 - 2年連続受診者数) / 当該年度対象者数 * 100



2) 年次推移(全国、長崎県)

受診率＝(当該年度受診者数＋前年度受診者数－2年連続受診者数)／当該年度対象者数＊100

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
全国	25.3	26.1	20.0	18.2	17.4	17.2	17.0	15.6	15.4	16.2
長崎	27.4	28.1	22.6	15.7	18.3	15.6	15.6	14.0	13.3	14.1

検査項目： — 視触診及びマンモグラフィ —

算出年齢： — 40～69歳(～H24「40歳以上」) —

対象者： — 「就業者数」を除外しない —

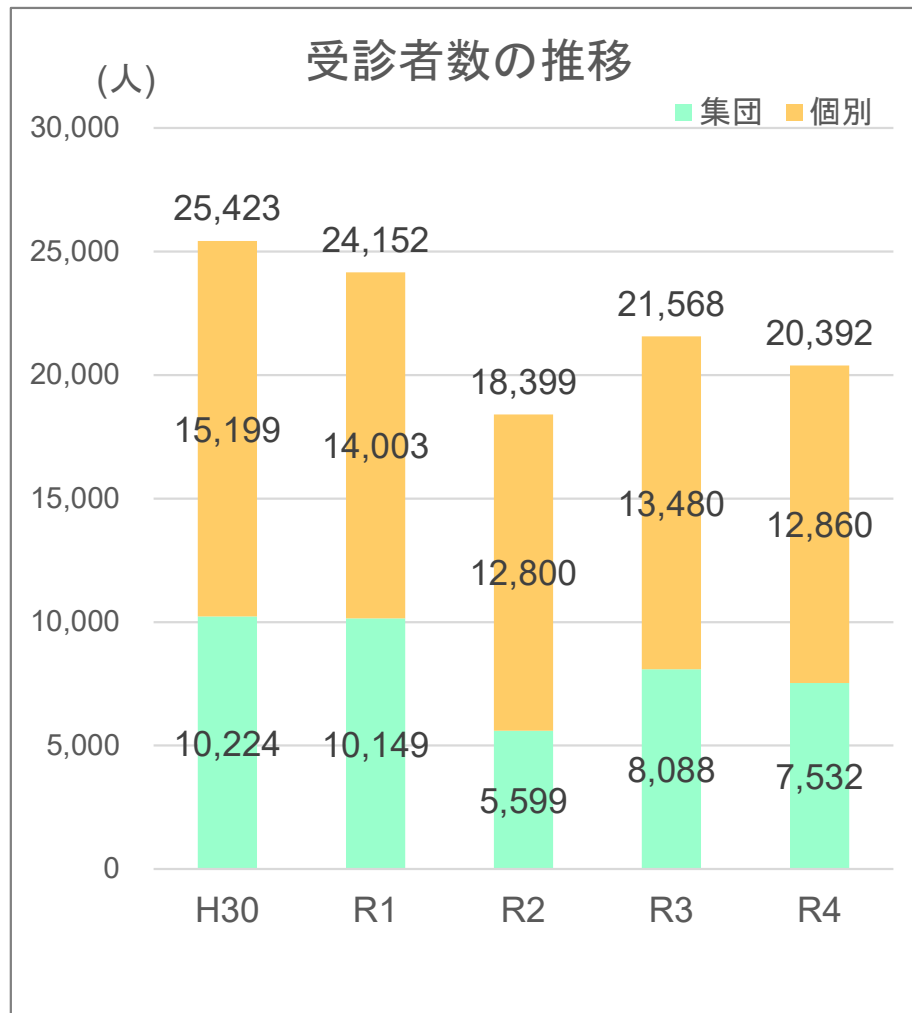
※算出年齢、対象者の計上方法が年度によって変更されているので、H27年度以前の経年的な比較はできない。

※受診率が比較可能なH28以降で比較すると、全国・長崎ともにR2・R3は減少していたが、R4は増加傾向にある。

▶ 2. 乳がん検診受診者数と受診率（40～69歳）

1) 受診者数の推移

▶ 受診者数は、年々減少している。R2年度に大きく減少（特に集団）、R3年度に若干回復したものの、R4は減少した。個別検診が多い。



(40-69歳)	H30	R1	R2	R3	R4
集団	10,224	10,149	5,599	8,088	7,532
個別	15,199	14,003	12,800	13,480	12,860
合計	25,423	24,152	18,399	21,568	20,392

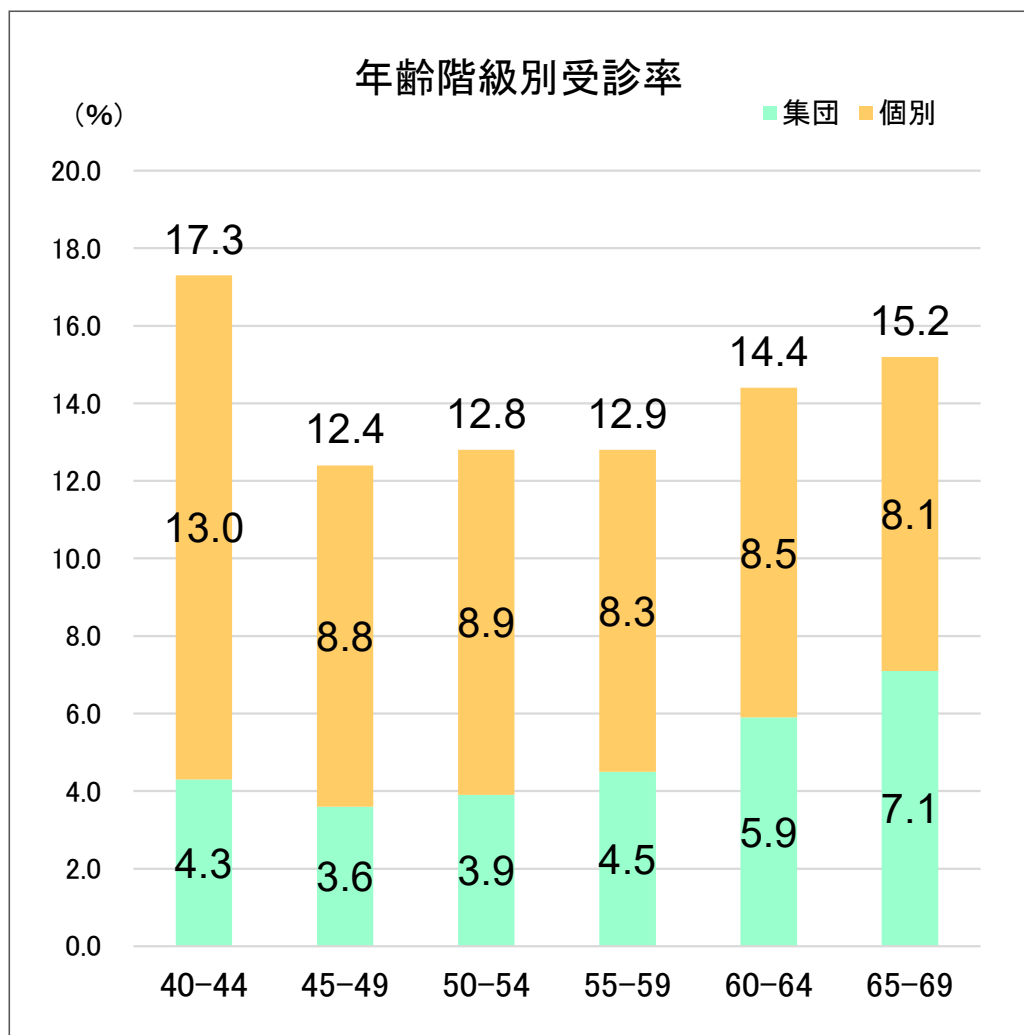
【参考】

(全年齢)	H30	R1	R2	R3	R4
集団	14,322	14,726	8,265	12,070	11,370
個別	17,956	17,273	15,718	16,881	16,400
合計	32,278	31,997	23,983	28,951	27,770

2) 令和 4年度年齢階級別受診率

▶ 受診率は、40～44歳が最も高く、45歳以上では年齢階級が上がるにつれて、受診率が高くなる傾向がみられた。

集団検診では年齢階級が上がるにつれて受診率が高くなる傾向がみられた。



年齢階級	区分	対象者数	受診者数	受診率
40-44	集団	37,737	902	4.3
	個別		2,470	13.0
	計		3,372	17.3
45-49	集団	43,244	894	3.6
	個別		1,973	8.8
	計		2,867	12.4
50-54	集団	44,166	1,017	3.9
	個別		2,096	8.9
	計		3,113	12.8
55-59	集団	42,801	1,127	4.5
	個別		1,969	8.3
	計		3,096	12.9
60-64	集団	46,365	1,575	5.9
	個別		2,108	8.5
	計		3,683	14.4
65-69	集団	50,617	2,017	7.1
	個別		2,244	8.1
	計		4,261	15.2

地域保健・健康増進報告(厚労省)

▶3.令和 3年度乳がん検診成績

1) 令和 3年度乳がん検診成績 (40～69歳)

					精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	非浸潤がん
	区分	受診者数	要精検者数	要精検率	あり	精検受診率	なし	精検未受診率	未把握	精検未把握率	異常なし	がん	早期がん	非浸潤がん	がん疑い及び未確定	がん以外の疾患	G/B	G/A	H/G	I/G
		A	B	B/A	C	C/B	D	D/B	E	E/B	F	G	H	I	J	K				
長崎県	集団	8,035	460	5.7	415	90.2	15	3.3	30	6.5	175	22	14	4	10	208	4.78	0.27	63.6	18.2
	個別	13,535	1,390	10.3	1,273	91.6	45	3.2	72	5.2	517	49	25	3	39	668	3.53	0.36	51.0	6.1
	合計	21,570	1,850	8.6	1,688	91.2	60	3.2	102	5.5	692	71	39	7	49	876	3.84	0.33	54.9	9.9

【参考】

70歳以上	集団	4,033	150	3.7	136	90.7	2	1.3	12	8.0	58	14	5	2	7	57	9.33	0.35	35.7	14.3
	個別	3,355	270	8.0	240	88.9	22	8.1	8	3.0	118	31	19	4	10	81	11.48	0.92	61.3	12.9
	合計	7,388	420	5.7	376	89.5	24	5.7	20	4.8	176	45	24	6	17	138	10.71	0.61	53.3	13.3

2) 令和 3年度乳がん検診成績(40～69歳)(初回受診者)(再掲)

※初回受診者：過去3年間(H30・R1・R2)に受診歴のない者

	区分	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	早期がん割合 H/G	非浸潤がん I/G
					あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	早期がん H	非浸潤がん i	がん疑い及び 未確定 J	がん以外の疾患 K				
長崎県	集団	2,262	220	9.7	190	86.4	10	4.5	20	9.1	75	13	9	3	2	100	5.91	0.57	69.2	23.1
	個別	5,611	773	13.8	715	92.5	18	2.3	40	5.2	287	29	15	1	21	378	3.75	0.52	51.7	3.4
	合計	7,873	993	12.6	905	91.1	28	2.8	60	6.0	362	42	24	4	23	478	4.23	0.53	57.1	9.5

【参考】

70歳以上	集団	633	43	6.8	41	95.3	0	0.0	2	4.7	13	8	4	2	5	15	18.60	1.26	50.0	25.0
	個別	905	116	12.8	103	88.8	7	6.0	6	5.2	39	21	12	2	7	36	18.10	2.32	57.1	9.5
	合計	1,538	159	10.3	144	90.6	7	4.4	8	5.0	52	29	16	4	12	51	18.24	1.89	55.2	13.8

3) 令和 3年度乳がん検診成績(年齢階級別)

年齢階級	受診者数	要精検者数	要精検率	精 検 受 診						精 検 結 果 別 人 数						陽性反応適中度	がん発見率	早期がん割合	非浸潤がん
				あり	精検受診率	なし	精検未受診率	未把握	精検未把握率	異常なし	がん	早期がん	非浸潤がん	がん疑い及び未確定	がん以外の疾患				
	A	B	B/A	C	C/B	D	D/B	E	E/B	F	G	H	I	J	K	G/B	G/A	H/G	I/G
40-44	3,709	448	12.1	415	92.6	3	0.7	30	6.7	156	7	3	-	5	247	1.56	0.19	42.9	0.0
45-49	3,056	366	12.0	339	92.6	7	1.9	20	5.5	123	8	2	1	8	200	2.19	0.26	25.0	12.5
50-54	3,162	292	9.2	267	91.4	6	2.1	19	6.5	103	10	7	-	8	146	3.42	0.32	70.0	0.0
55-59	3,122	221	7.1	203	91.9	12	5.4	6	2.7	88	14	8	1	11	90	6.33	0.45	57.1	7.1
60-64	3,879	245	6.3	213	86.9	16	6.5	16	6.5	105	13	7	3	9	86	5.31	0.34	53.8	23.1
65-69	4,642	278	6.0	251	90.3	16	5.8	11	4.0	117	19	12	2	8	107	6.83	0.41	63.2	10.5
合計	21,570	1,850	8.6	1,688	91.2	60	3.2	102	5.5	692	71	39	7	49	876	3.84	0.33	54.9	9.9

【参考】

70歳以上	7,388	420	5.7	376	89.5	24	5.7	20	4.8	176	45	24	6	17	138	10.71	0.61	53.3	13.3
-------	-------	-----	-----	-----	------	----	-----	----	-----	-----	----	----	---	----	-----	-------	------	------	------

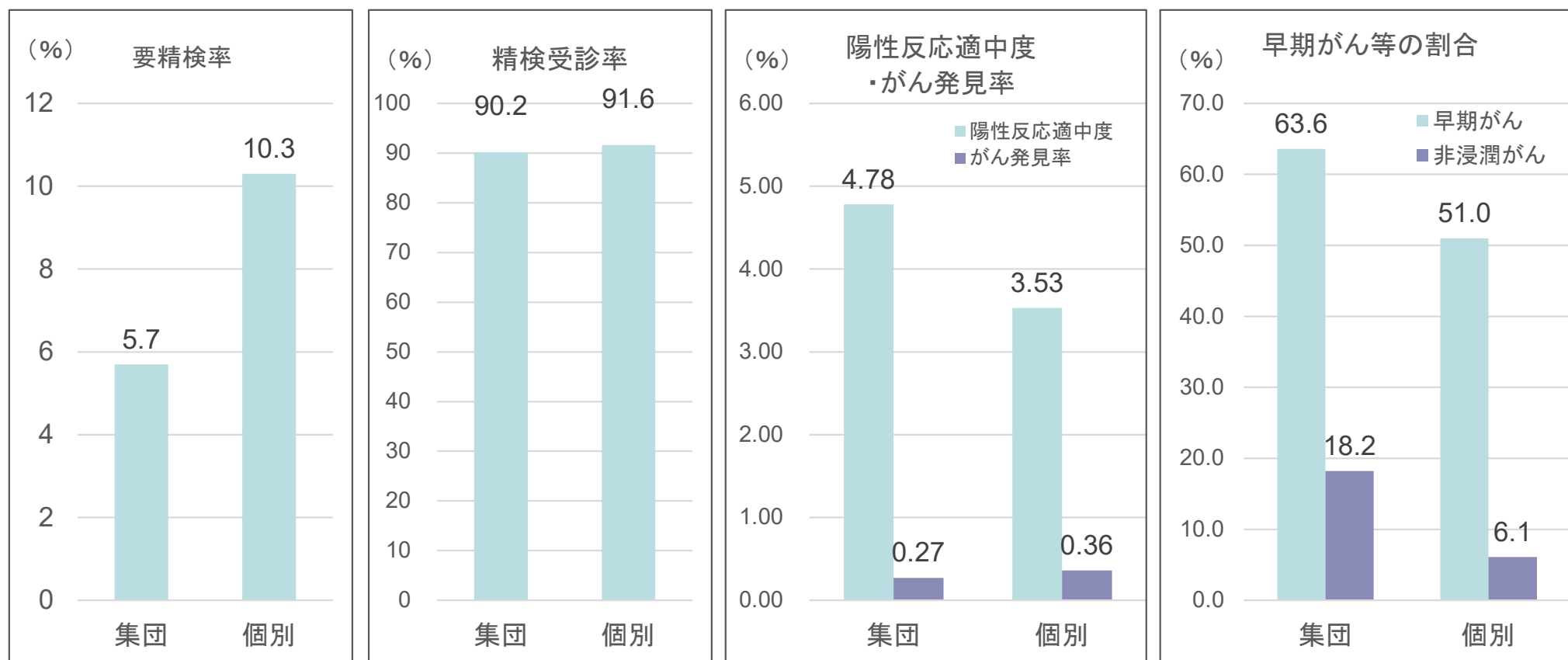
4) プロセス指標の**集団**と**個別**の比較



要精検率は、集団検診より個別検診が高かった。

陽性反応適中度は集団検診が高く、がん発見率は個別検診がやや高かった。

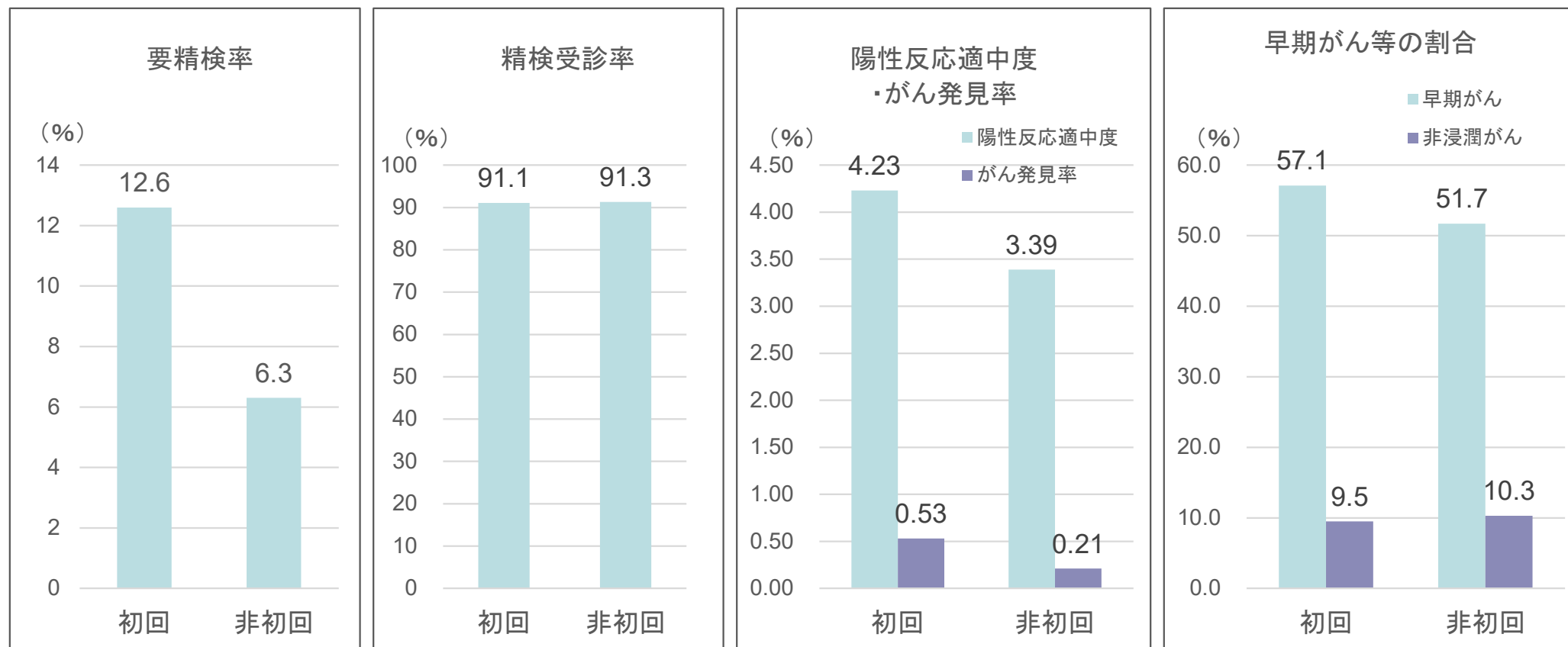
発見がんに占める早期がん・非浸潤がん割合は、個別検診より集団検診が高かった。



※初回受診者：過去3年間（H30・R1・R2）に
受診歴のない者

5) プロセス指標の受診歴別（初回・非初回）の比較

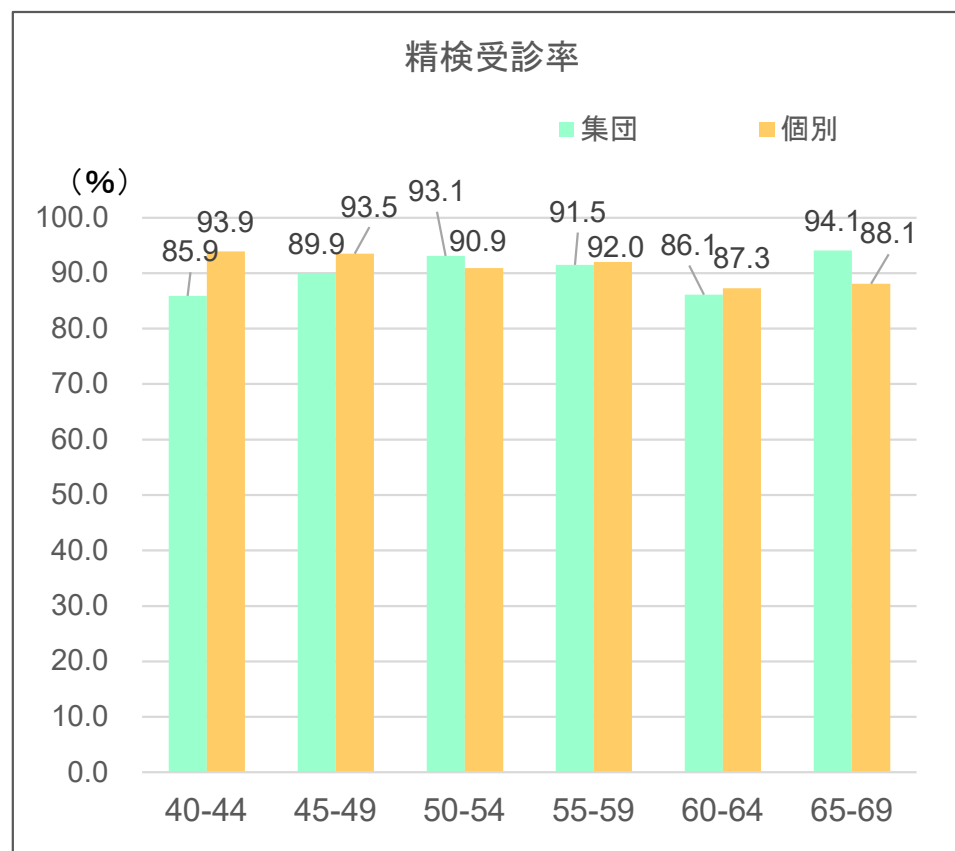
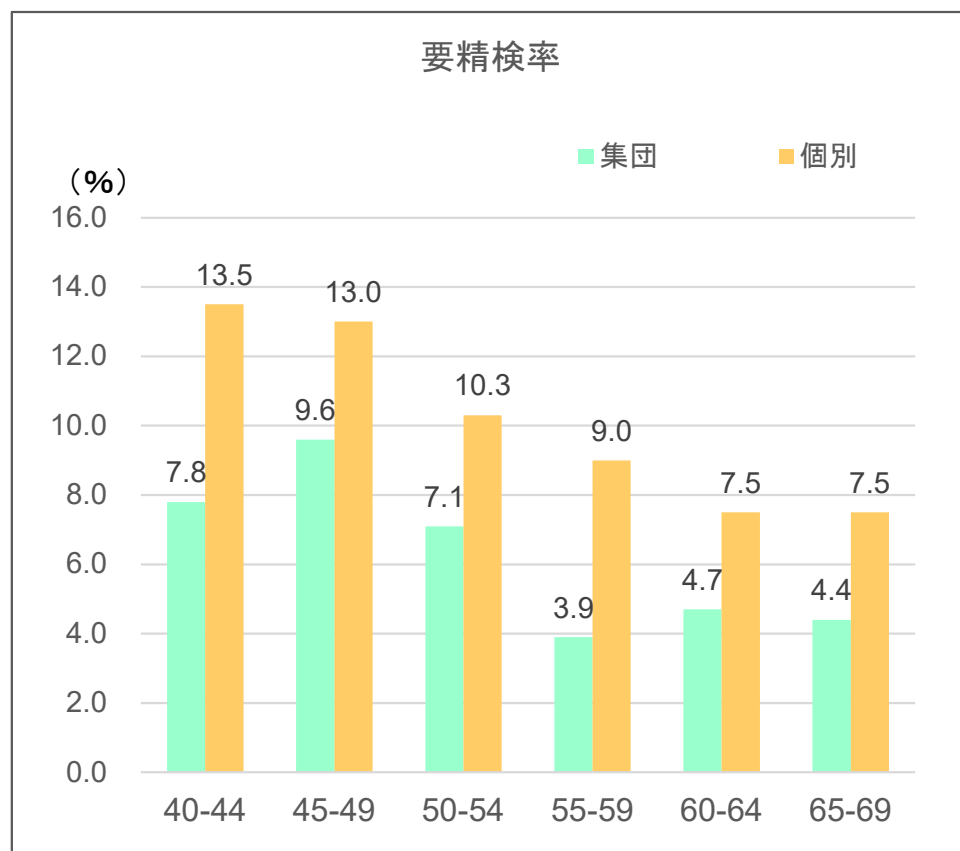
- ▶ 要精検率は、非初回より初回が高かった。
陽性反応適中度、がん発見率のいずれも非初回より初回が高かった。
発見がんに占める早期がん割合は初回・非初回ともに50%を超えていた。



6) 年齢階級別の比較

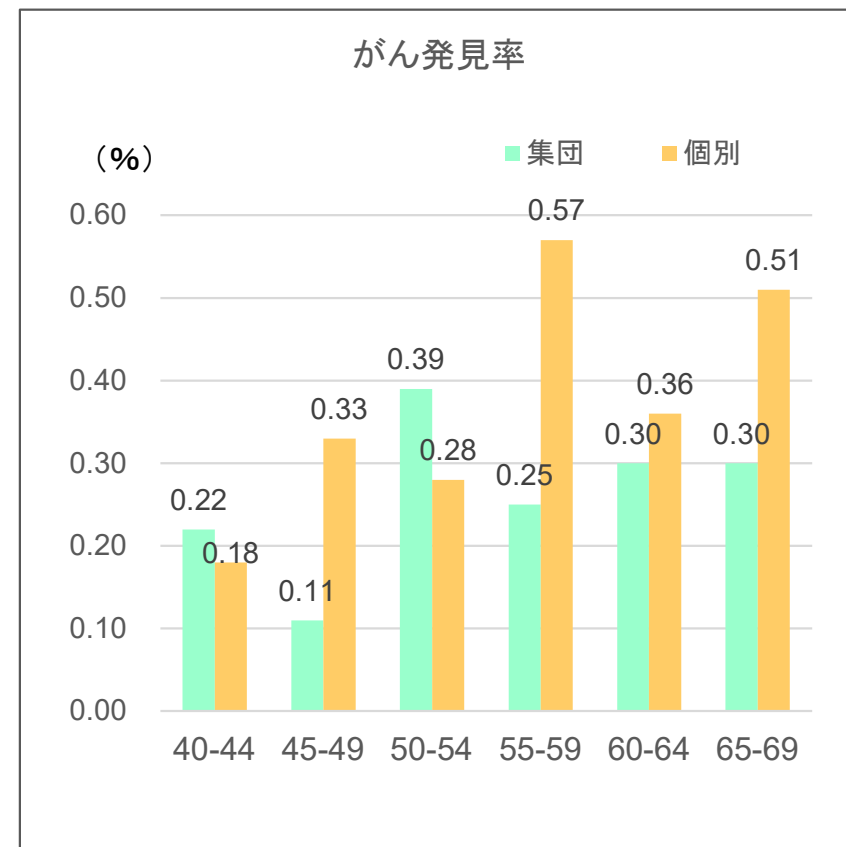
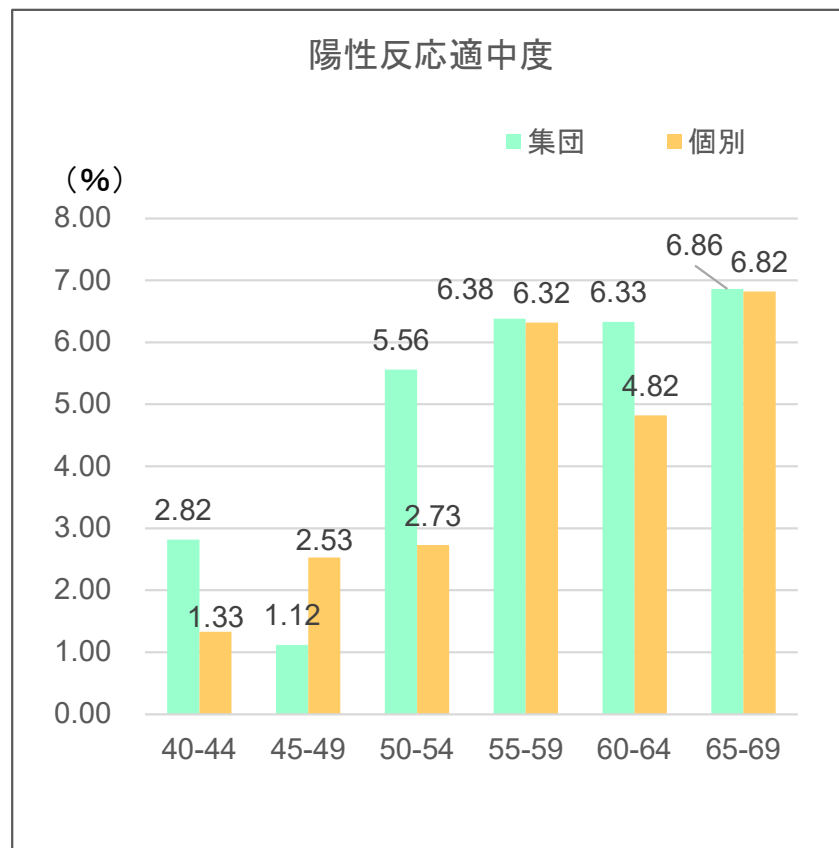
▶ 要精検率は全ての年代で、個別検診のほうが高く、年齢階級が上がるにつれて低くなる傾向がみられた。

精検受診率は、60-64歳が低くなっているが、全体的にばらつきがあった。





陽性反応適中度は、年齢階級が上がるにつれて、高くなる傾向がみられた。
がん発見率は、ばらつきが多かった。



▶4.国の示す基準値

平成20年に設定
令和5年6月改訂により新基準値へ変更

	胃がん (エックス線)		大腸がん	肺がん (1年間隔)		乳がん (2年間隔)		子宮頸がん		
	2 年間隔	1 年間隔		検診以外 の受診を 考慮		連続受診 を考慮				
対象年齢	50-69歳		40-69歳	40-69歳		40-69歳		20-69歳	20-39歳	40-69歳
算出に用いた感度*	60%以上		60%以上	50%以上		40歳代：60%以上 50歳代：70%以上 60歳以上：80%以上		65%以上		
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
現在の 許容値	11.0%以下		7.0%以下	3.0%以下		11.0%以下		1.4%以下		
精検受診率	90%以上									
がん発見率*	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
現在の 許容値	0.11%以上		0.13%以上	0.03%以上		0.23%以上		0.05%以上		
陽性反応適中度*	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
現在の 許容値	1.0%以上		0.19%以上	1.3%以上		2.5%以上		4.0%以上		
非初回受診者の 2年連続受診者割合**						30%		40%		

乳がんの指標

乳がんの指標

* 子宮頸がんはCIN3以上に対する値

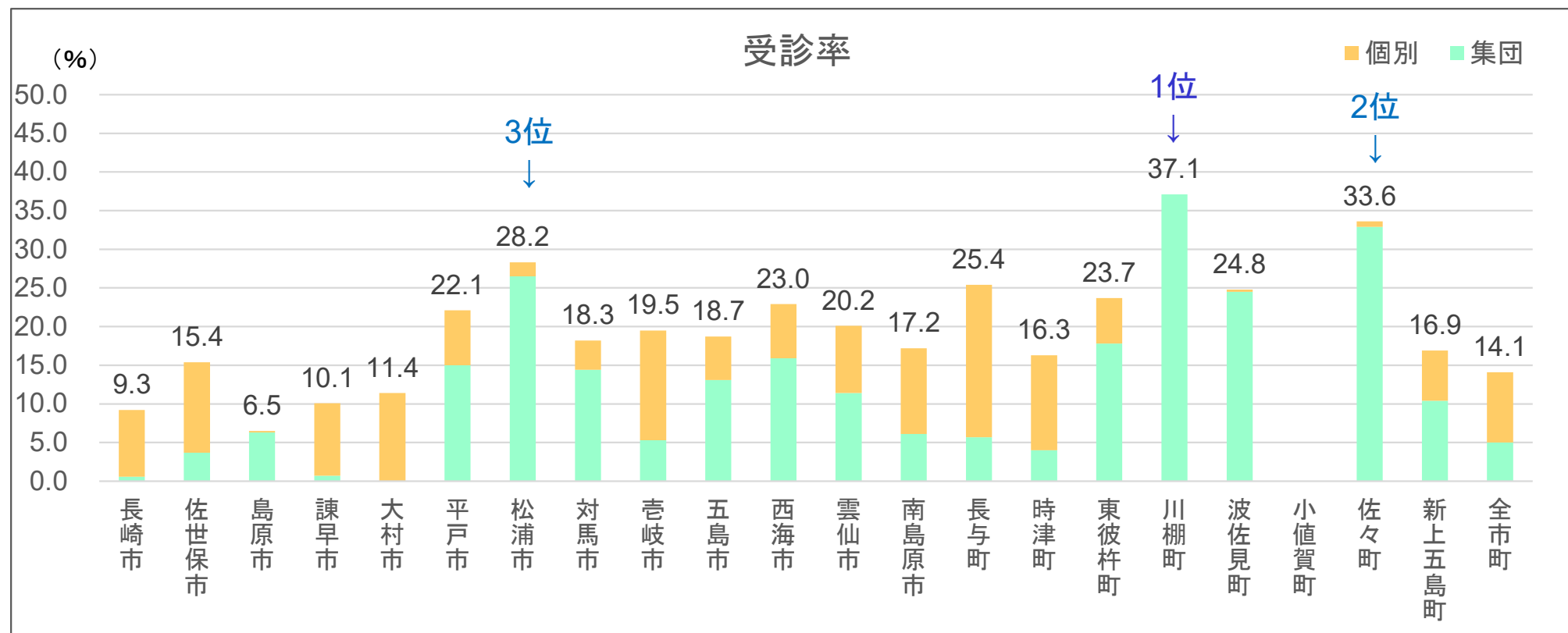
** 国民生活基礎調査から算出したおよその現状の値

▶5.精度管理(プロセス指標)の意味と解釈

1) 令和 4年度市町別受診率

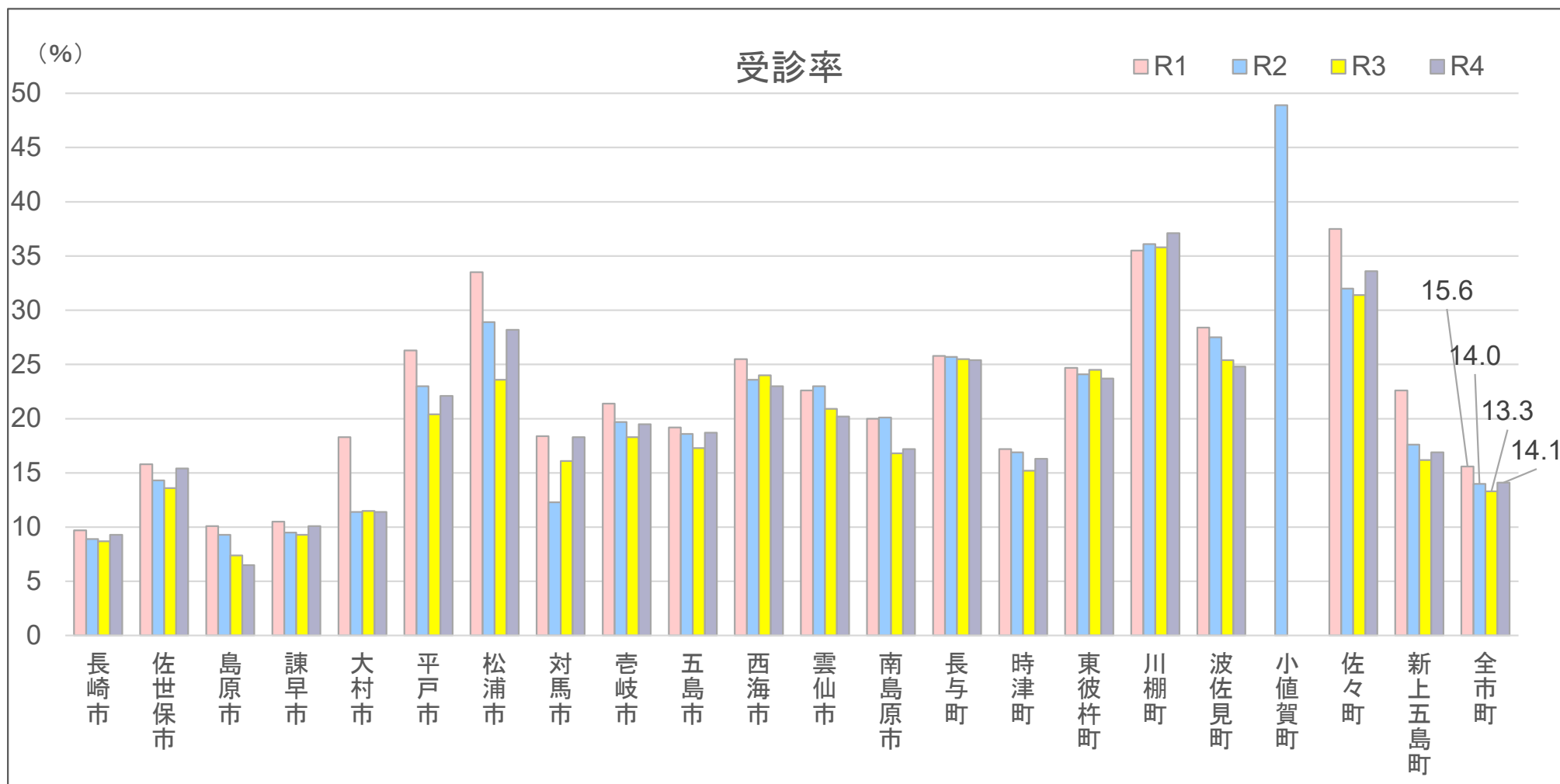
- 受診率 = (R4年度受診者数 + R3年度受診者数 - 2年連続受診者数) / 対象者数
- 目的: がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合。
受診率が高いことが望ましい。
- 低い場合に考えられる原因
 - ・ 受診勧奨が不十分

- ・ 市町が地域のがん検診として実施した分のみ計上。
- ・ 職域における受診者数は含まれていないことから、単純に比較することはできない。
- ・ 市町によりばらつきが多い。最も高い市町で37.1%、最も低い市町は6.5%であった。
- ・ 県全体として14.1%であった。



2) 年度別市町別受診率

- 前年度より上昇している市町：長崎市・佐世保市・諫早市・平戸市・松浦市・対馬市・壱岐市・五島市・南島原市・時津町・川棚町・佐々町・新上五島町
- 4年連続減少している市町：島原市・長与町・波佐見町



3) 令和 4年度市町別非初回受診者の2年連続受診者割合

●非初回受診者における2年連続受診者割合
＝2年連続受診者数／非初回受診者数

●非初回受診者：過去3年間(R1・R2・R3)に受診歴のある者

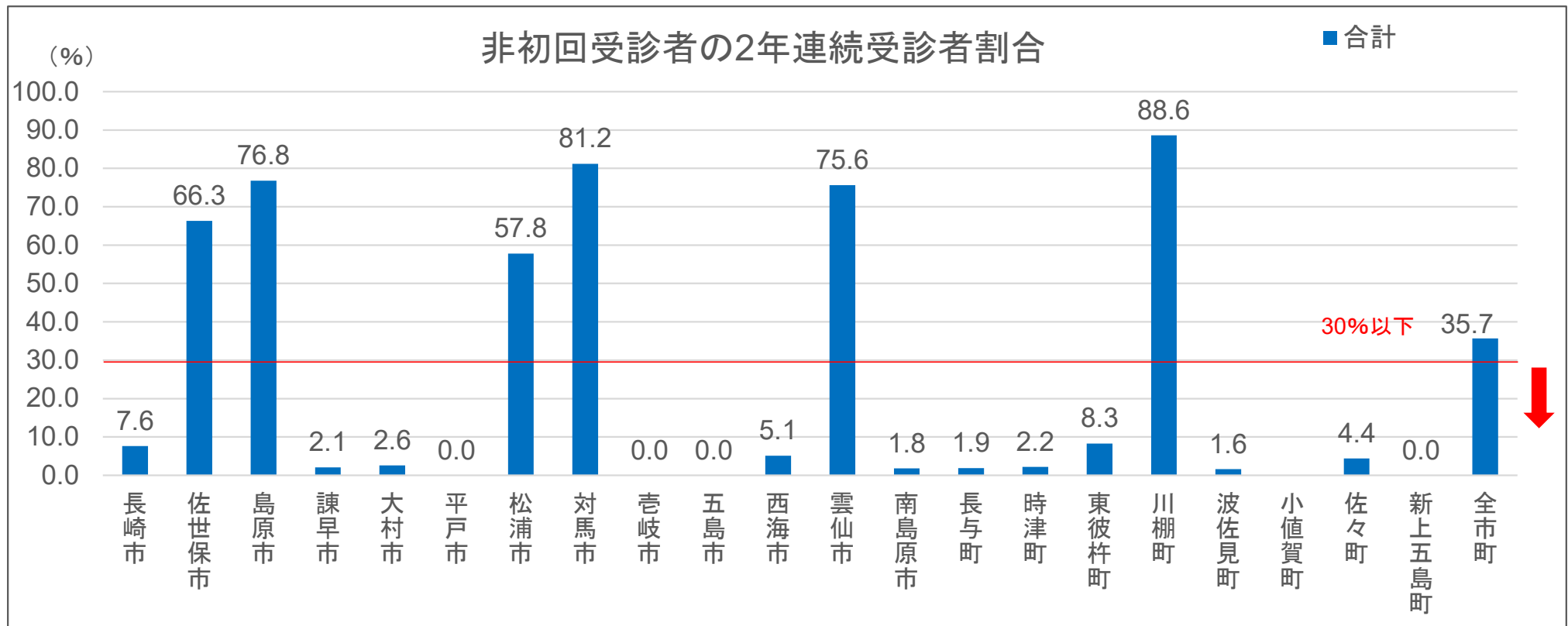
●2年連続受診者：2年連続(R3とR4)して受診した者

●基準値： 30%以下〔40-69歳〕

受診間隔は、「隔年(前年度未受診者・偶数年齢など)」、
「毎年受診可」とするなど、市町により差がみられる。

2年連続受診者割合は、市町により大きく差がみられた。

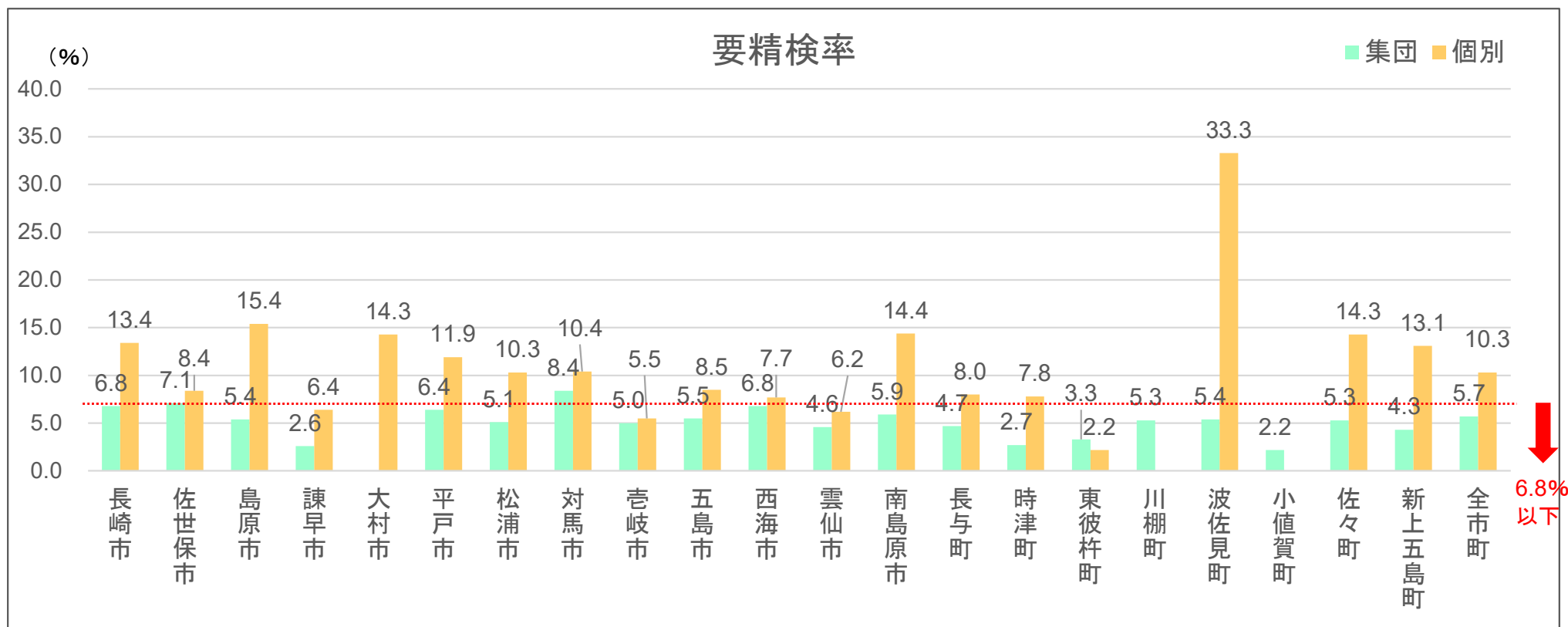
基準値30%を超えている市町は、受診間隔を「隔年」としていないところがほとんどであった。



4) 令和 3年度要精検率

- 要精検者数／検診受診者数
- 目的: 精密検査の対象者が適切に選ばれているか
- 基準値: **6.8%以下**〔40-69歳、2年間隔〕
- 高い場合に考えられる原因
要精検者の計上は適切か。
有症状者が、がん検診を受診していないか。

- ・市町は検診形態でばらつきがある。
- ・集団検診では、市町は概ね基準値を満たしている。
個別検診では要精検率が高い傾向にあり、基準値を満たしている市町は4市町であった。
- ・県全体としては、集団検診は基準値を満たしていたが、個別検診は満たしていない。



5) 令和 3年度精検受診率

●精検受診者数／要精検者数

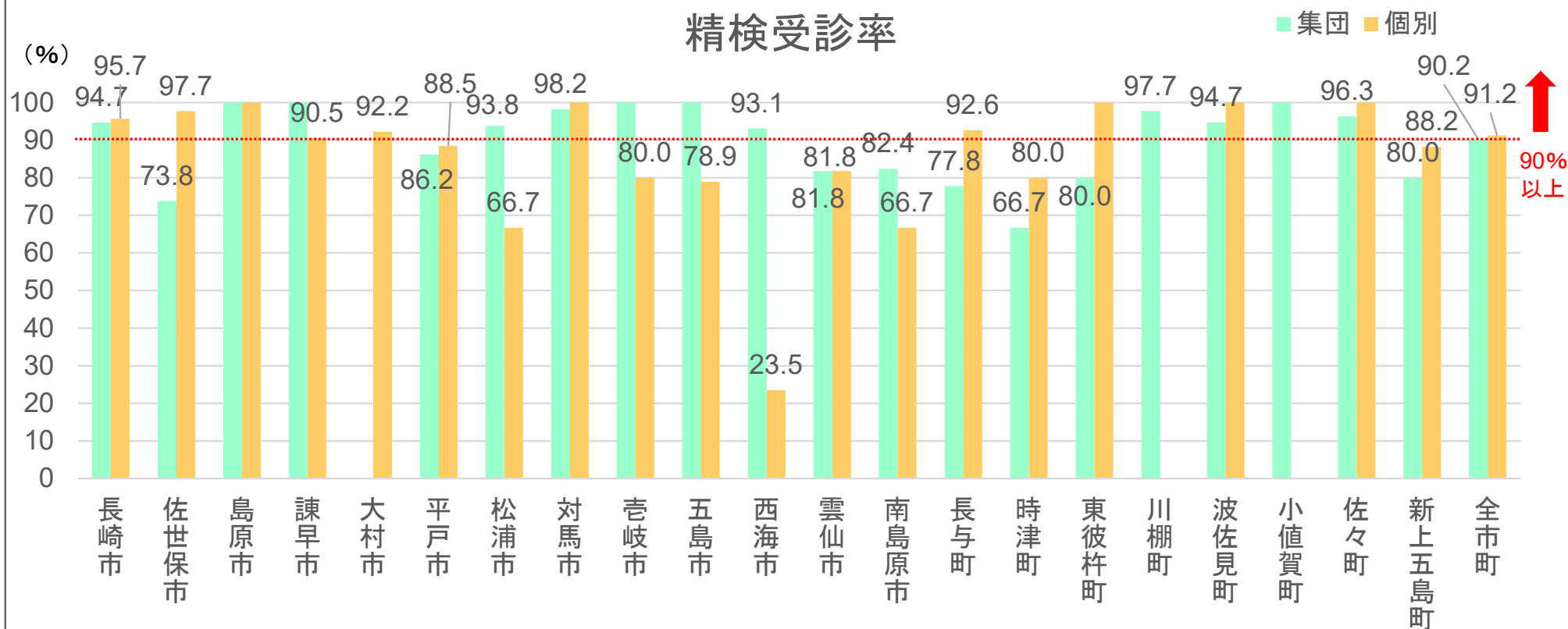
●目的：要精検者が精密検査を受診したか。
高いほど良い。(精検受診率が100%近くなければ、
発見率を正しく評価できない)

●基準値： 90%以上〔40-69歳〕

●低い場合に考えられる原因

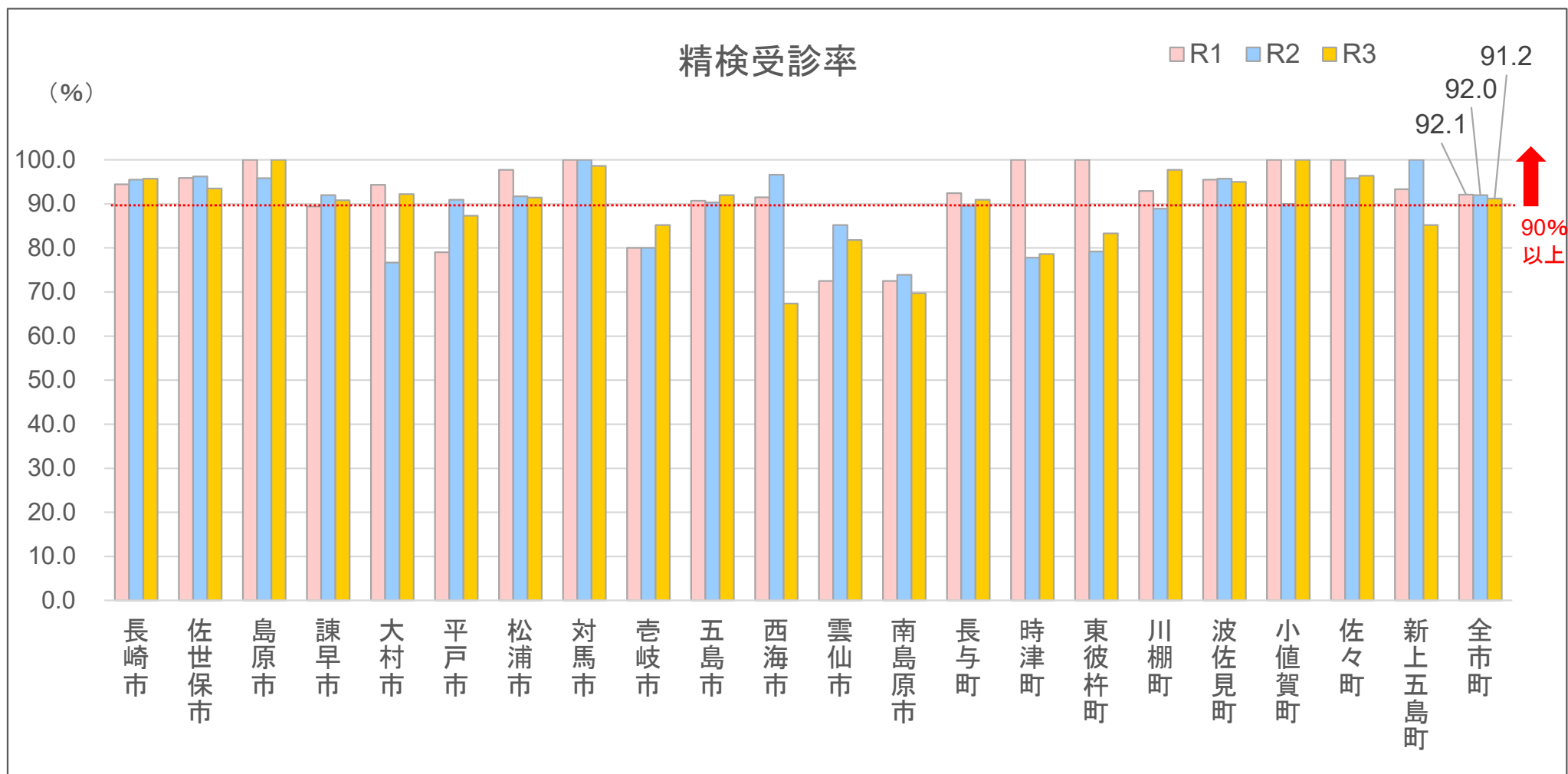
- ・精検の受診勧奨が不十分。
- ・精検受診の有無を市町が確実に把握できる体制が不十分。
- ・市町や検診形態でばらつきがある。
- ・県全体では、集団も個別も基準値を満たしている。

精検受診率



6) 年度別精検受診率

- 3年連続90%以上の市町:長崎市・佐世保市・島原市・松浦市・対馬市・五島市・波佐見町・小値賀町・佐々町
- R3年100%の市町:島原市・小値賀町



7) 令和 3年度陽性反応適中度

●がんであった方の数／要精検者数

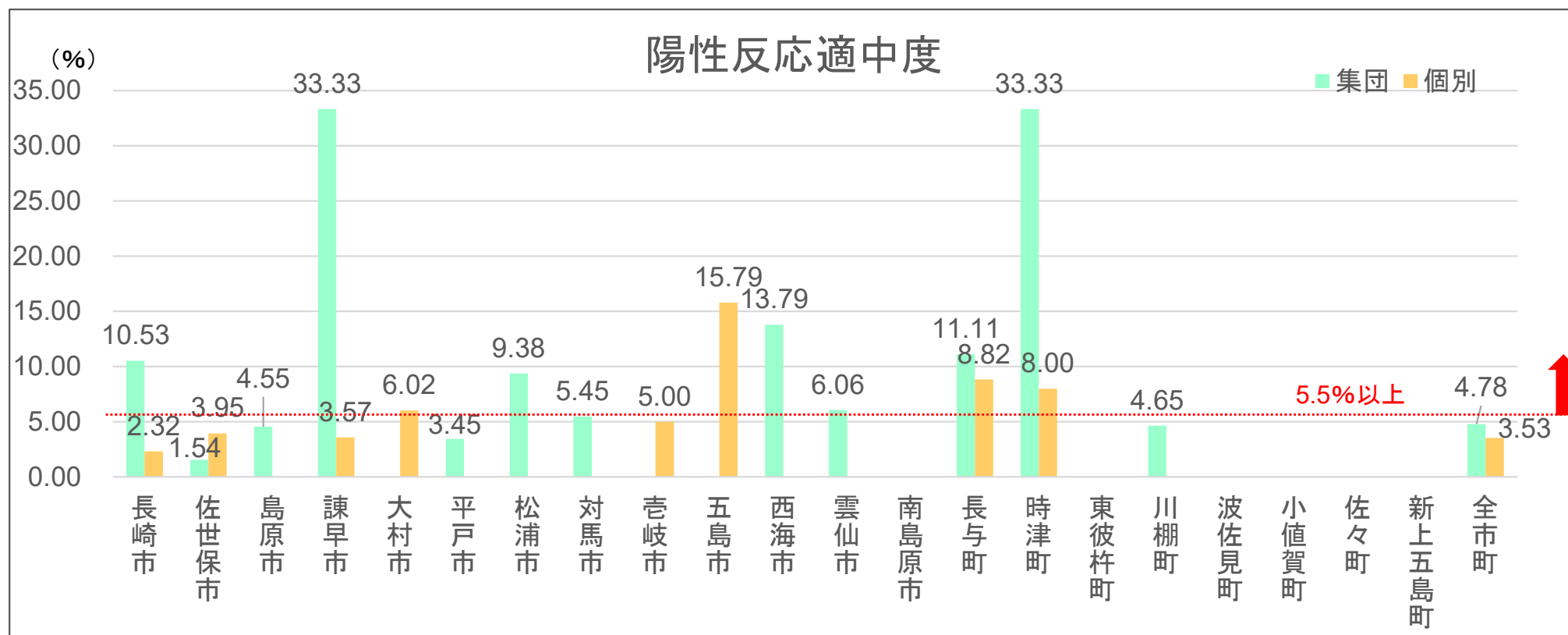
●目的：検診で効率よくがんを発見されたかを測る

●基準値： **5.5%以上**〔40-69歳、2年間隔〕

・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

・市町では、ばらつきが多い。

・県全体としては、集団・個別検診ともに基準値を満たしていない。



8) 令和 3年度がん発見率

●がんであった方の数／検診受診者数

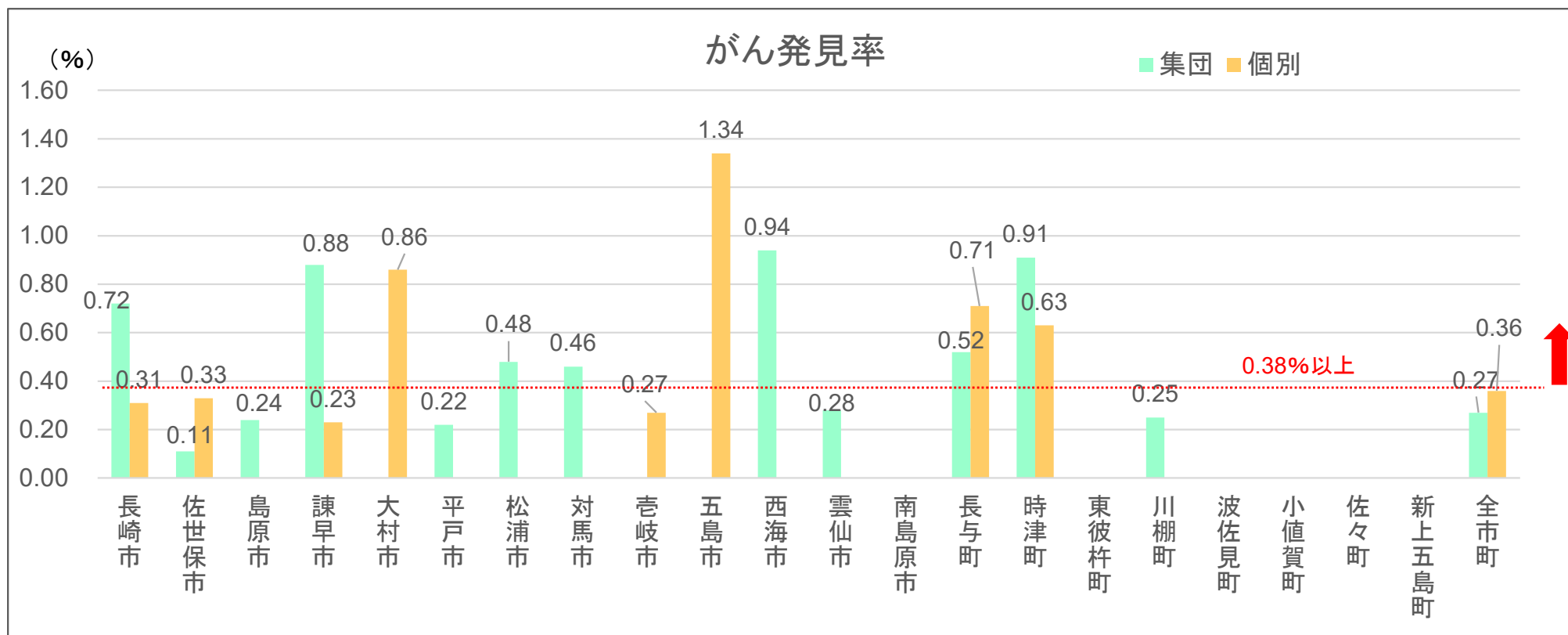
●目的: その検診システムにおいて、適切な頻度でがんを発見できたか

●基準値: 0.38%以上〔40-69歳、2年間隔〕

・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

・市町ではばらつきが多い。

・県全体としては、集団・個別検診ともに基準値を満たしていない。



9) 令和 3年度偶発症

▶ 長崎県では偶発症は報告されていません。

【検診時 もしくは 検診後】

区分	全国		長崎県	
	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	2	…	—	—
個別	4	…	—	—
合計	6	…	—	—

【精密検査時 もしくは 精密検査後】

区分	全国		長崎県	
	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	4	…	—	—
個別	2	…	—	—
合計	6	…	—	—

▶ 6.まとめ

受診率、精検受診率について

- ▶ 受診率は市町によりばらつきが多い。県全体として14.1%で、全国ワースト7位であった。精検受診率は、県全体としては、集団検診・個別検診ともに満たしている。

要精検率について

- ▶ 各市町、検診形態（集団、個別）によりばらつきがある。集団検診では、概ね基準値を満たしている。個別検診では要精検率が高い傾向にあり、基準値を満たしている市町は4市町であった。
県全体としては、集団検診は基準値を満たしていたが、個別検診は満たしていない。

がん発見率、陽性反応適中度について

- ▶ 人口規模が異なるので、市町毎に評価することは困難である。
陽性反応適中度・がん発見率ともに、県全体として、集団・個別検診ともに隔年受診の基準値を満たしていなかった。